

うちに消え去っていくことになる。

それは人間を人間に照らして測定する競争とは距離を置く。ヌルミは時計 14 と競って走ると言われたのには理由がある。それによって確証されているのは、スポーツの訓練が時間に従った立場にあることである。この立場は、テストの方向へと進むために、競技的な立場から身を離す。近代的な形態におけるテストにとって、人間をある装置に照らして測定することほど馴染みのあるものは存在しない。テストにおいて装 もはやゲームの規則を完全に機械化されたテストにおいて最終的にはまた、スポーツにおける物理的な規則を物理の測定システムと人間の成果とのあいだで媒介しているゲームの規則が脱落する。スポーツの成果がテスト用の装置に照らして測定される時、それはきわめて原始的なかたちでおこなわれる。それは、~~競技的な形式が僅かなものに対応しているように~~(X)生産の(xxxx)化に対応している。だが、スポーツの成果とは異なり、機械化されたテストに照らした成果は展示され~~ていな~~「う」ものではない。このことがテスト成果の社会的な意義を制約している。【そして、ほかならぬこのようなところに、映画が介入してくるのである。映画は、成果の展示可能性自体からひとつのテストをつくりだすことによって、テストの成果を展示可能にする。というのも、映画俳優が演技するのは公衆のまえではなく、装置のまえだからである。監督が立~~って~~撮影・録音主任が立っている位置は、~~適性検査~~において検査主任が立っている位置とまさに同一である。そして~~ま~~や、映画俳優、とりわけスターに求められる成果は、装置を目のまえにしておのれの~~人間性~~を保持するという点に存在する。一度でもマイクロフォンに向かって話をしたことがある人であれば、おのれの人間性を決定的に変化させることなしにそれをするのが不可能だと知っている。++

●このような成果にたいする社会的な関心はきわめて大きい。というのも、都市住人の圧倒的な大多数は、事務所や工場において、まさに装置をまえにした労働時間がつづくあいだずっと、~~おおむねみずからの人間性からみずからの人間性~~をおおむね放棄しなくてはならないからである。晩にはこの同じ大衆が映画映画館を満たして、いかに映画スターが、彼の人間性(あるいは大衆にとっ

てそう思われるもの)が、たんに装置にたいしておのれを主張するだけでなく、むしろ装置をみずからの勝利のために利用することで、自分たちのために代理として復讐してくれるかを体験するのである。

●だが、遊戯することがここで意味しているのは、装置を
目のまえにしておのれの人間性を保持することである。●

十十撮影用のアーク灯に照らされて演技すると同時に~~おいて~~、台詞のうえでもマイクロフォンの要求に応じるということは、第一級のスポーツの「テスト」成果である。●このテスト成果もまた人間全体を動員する。だが、それは競競技のように人間の調和的な全体性ではなく、総合工業技術的な適応能力による総体的現象に従ったものではなく、人間の工業技術的な適応能力のなかで動員されるのである。 [20]

このような審判員団は映画においても機能している。多くの個所が何通りも撮影されることはよく知られている。たとえば助けを求めて叫ぶ場面を幾つかの異なるバージョンで収録することが可能である。これらの異なるバージョンのなかから審判団がひとつを選び出す。審判団はこれらの複数の叫びのなかで最高記録を確定するとも言えるのであり、そこで基準となるのはその展示可能性である。

映画撮影、とりわけトーキー映画の撮影は、以前これまでどこでもけっして考えることができなかった光景を示している。~~その~~光景映画撮影の過程では、~~(xxx)~~演技の過程そのものには属していない撮影装置が、中見ている人の視界に入ってこないような位置がもはやひとつも存在しない。(まぐ知られているように~~(x)~~ 音声を録音するための装置はきわめてまぐ~~(x)~~ (装置がまさに俳優たちの身にせまってくることもしばしばである。)このような事情、他のいかなる事情にもましてこの事情が、映画におけるシーンと舞台上のシーンのあいだに少しは存在している類似点をまぐ~~きわめて~~表層的でどうでもいいものにする。劇場には原則的に、そこからでは出来事をすぐいつでもイリュージョンであると見抜くことができないような場所がある。映画撮影~~において~~にたいしてこのような場所は存在しない。映画撮影のイリュージョナルな性格は二

移ろ~~う~~と試みた人はわずかである。その点に~~(xx)~~それにもかかわらずくるのは~~その~~こうした事情は 特殊な性質と関連

技術的複製可能性の時代における芸術作品

メモ

大衆の生活は昔から歴史の顔にとって決定的だった。だが、この大衆が意識的に、~~おのれ~~そしていわばこの顔の筋肉として、顔がつくる表情を表現すること——これはまったく新しい現象である。この現象は幾重にも、そしてとりわけ芸術をまえにしたときに強烈に感じられるものである。芸術と~~は~~(x)は、

複製可能性にたいして心構えをすればするほど、そしてオリジナルの作品を中心に据えることが少なくなればなるほど、ますます聞き入れてもらうという見込みを高めることができる。今今日、あらゆる芸術のなかで、この危機に見舞われていることがもっとも明瞭であるのが劇芸術である~~のも~~とすれば、それは物事の本質に根ざしている。というのも、「機械的な」複製のなかに端的に包摂される芸術作品にたいして、そのつど新たな、計算しえない俳優の身振りほど極端に対立するものは存在しないからである。干あらゆる芸術のなかで、機械的な複製、すなわち規格化からもっとも縁遠いのが演劇である。だからこそ大衆は演劇を見放しているのだ。おそらく歴史的な観点からしてもっとも重要なものがプレヒトの作品のなかに存在している。プレヒトの劇的生産は、演劇にたいして、もっとも冷徹にして謙虚であるような形式を、さらに言えばきわめて簡略化された形式をとることを可能にすることで、そのようなかたちで作品をいわば越冬させるのだ。

おそらく歴史的な観点からしてもっとも重要なものがプレヒトの作品のなかに存在している。プレヒトの劇的生産は、演劇にたいして、もっとも冷徹にして謙虚であるような形式を、さらに言えばきわめて簡略化された形式をとることを可能にすることで、そのようなかたちで作品をいわば越冬させるのだ。

干どのようなものであれ、より立ち入った考察が裏づけているのは、²⁷このような架橋しえない対立である。というのも、映画が俳優に要求することとは、ある役柄という演技可能な演技可能な連関の外側に位置しているからである。かくして、ある囚人が窓から飛び出すシーンができるのは

↗→+

アート⁽²⁹⁾

〈~~⌘~~〉

〈オリンピックは反動的である〉

オリンピックは反動的である。ヌルミは時計と競って走ると言われたのには理由がある。それによってスポーツの訓練が時間に従った水準にあることが確認されている。その水準が直スポーツの訓練は人間を装置に直面させる。まずは〈?〉肉体をもった人間を時計(~~xxx~~)時計とメートルに。だがそのことは〈xxxxx〉にとってそしてそのあと〈~~⌘~~〉まずは。このうえ

芸術の危機に関して

ダダイズムは真正なことを強調していた。イリュージョンにたいして立ち向かったのだ。

〈スポーツ：ショックを与えるようにチャンピオンを入退場させること〉

スポーツ：ショックを与えるようにチャンピオンを公共の領域から入退場させること

労働にたいする歌の機能：たんに労働のリズムをつくりだすことだけでなく、労働から注意を逸らせて、労働を機械化すること

芸術理論は、そのすべての要素を映画にそくして例証できないかぎり、改良の余地がある

公衆の気散じは芸術作品の技術的水準に比例している。この水準のために最高記録の価値という概念を導入することができるかもしれない

映画の理論のために考慮しなくてはならないのは、~~映画においてオラジナルと複製の区別は対象をもたなくなるという点である~~

芸術作品は、責任をもって気散じをつくりだすことを試みる

映画のなかで生受容のリズムを規定しているショックは、~~ベルトコンベアーで生産のリズムを規定している~~

気散じの理論